

事業提案書（記載例）

※事業提案書については、1枚に収める必要はありません。

※必要に応じて適宜、行を追加して作成ください。

1 補助対象事業（以下の項目から選択してください）

項目	内容
①	新商品、サービスの開発及び当該商品、サービスの提供に必要な施設整備又は物品購入
②	インバウンド対応（外国語表記の案内板設置、多言語翻訳機器設置、多言語パンフレット制作、キャッシュレス決済端末の導入 等）
③	イベント・キャンペーン等の新規実施又は拡充
④	エリアへの誘客が特に高いと認められるイベント・キャンペーン等の新規実施又は拡充
⑤	広域観光エリア事業に関連するプロモーション等の実施
⑥	その他知事が必要と認めたもの

2 補助対象事業の内容（別紙での提出も可とする）

ア 事業の目的（この事業の背景及び目的などを記入してください）

**【事業の背景】**

補助事業の実施に至ることになった背景を記載してください。

- 補助事業者の現在の事業状況（提供しているサービスや生産している商品等の内容、月平均の来客実績 等）
- 周辺の観光スポットや観光客の来訪状況、当該地域の魅力、地域の観光に資する事業実績等について

**【事業の目的】**

「事業の背景」を踏まえ、補助事業（新商品、サービスの提供などに必要となる施設整備や備品購入等）を実施することにより実現したい内容（＝目的）や、目的を達成することによる地域への波及効果を記載してください。

- 補助金を活用して●●（施設整備など、実施内容を記載する）を行い、観光客をターゲットにした新しいビジネス（飲食、体験等）を開始する／新商品を販売する／提供している

体験プログラムの受入環境を向上させる。

- ▶ 補助事業の実施による観光に資する波及効果（例：地域を訪れる観光客を増やす、滞在時間を向上させる、周辺の観光スポットと連携して回遊性を高める）を記載

イ 事業の概要（事業の実施場所、事業のコンセプト、各補助事業内容・条件の該当の有無、活用する資源の特徴、魅力などを含めて具体的かつ簡潔に記入してください）

#### 【事業の実施場所】

事業を実際に実施する（観光客が実際に訪れる）場所を記載してください。

移動を伴う事業（サービスの提供等）の場合は、予定しているルートを図上に落とし込み、別紙などを用いて示してください。

#### 【事業のコンセプト】

補助事業の全体像を簡潔に記載してください。

- ▶ 弊社で提供している「●●体験」のインバウンド展開を見据えた受入環境整備等（案内看板、施設パンフレットの多言語化等）
- ▶ ●●（近隣の観光スポット）を訪れる観光客をターゲットとし、新サービスを提供するための施設整備等

#### 【補助事業の内容】

補助事業の内容（＝補助金を使って実施する内容）を下記例のように箇条書きで端的且つ具体的に記載したうえで、事業の内容が分かるように、文章やイメージ図などで補足ください。様式内に収まらない場合は別紙にて補足する形でも構いません。

#### 【条件の該当の有無】

補助金交付要綱別表1に記載の補助対象事業のうち、実施事業がいずれの内容に該当するかを記載してください。

実施要領に記載の各諸要件を満たしているか御確認のうえ、各要件を満たす根拠をこちらに記載ください。

#### 【活用する資源の特徴】

補助事業に提供する新たなサービス・商品等に係る観光の魅力について記載してください。

施設整備等を行う場合は、施設の立地（地理的条件）の特徴についても記載してください。（周辺観光スポットの情報、周辺道路・地域への観光客の来訪状況等）

#### 【提供する新サービス・商品の情報】

観光客向けに販売する新サービス・商品の概要（申請時点で検討している内容で可）を記載してください。（内容・受入可能人数・価格等）

ウ 事業実施スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月

エ 目指すべき事業効果を記入してください。（可能な限り、取組の成果を図る指標と目標値を設定して、記載してください。）

--

オ 補助対象経費等

(ア) 補助対象経費	(イ) 補助金交付申請額 (補助金額)
円	円

## 別紙 2

## 収支予算書

## 1 収入

(単位：円)

科 目	金 額	積算根拠 (数量、単価等)
合 計		

## 2 支出

(単位：円)

	科 目	金 額	内 訳	
			内 容	積算根拠 (数量、単価等)
補助 対象 経費				
計 (A)			うち、ハード整備 (施設改修等) の額 ( )	
補助 対象外 経費				
計 (B)				
合計 (A+B)				

## 【県補助金の計算】

補助対象経費 (A) × 補助率 (1 / 2 以内)

ただし、補助限度額以内で、1,000 円未満は切り捨てるものとする。

※ 収入科目は、補助金、自己資金、事業収入等を記入してください。

※ 補助対象経費の支出科目は、新たな観光地域づくり補助金交付要綱別表 2 に定める経費区分により記入してください。

